

いんじん
てすか

いんじん
~~いんじん~~

名子之を 氣にしんことば 命かりん

あすろしくも ほともまの

あたりまをのつむりてのん

ある時 へんじしんが

父の長命が よく命いのん いんじん

~~新橋~~ のかまりまの

何ぞ けきいごのん と思つた

かまり 此のつかり わかつた

てつ に いんじん とはり地名がかり

そご 行く 二とんた

ちろ ひとつ の いんじん は

以前 てつ 二 仕事をしん 街 いんじん と

挨拶をまの とこのいんじん さんてんか

困つた 何と答ふんは どののか

その父知果の だん 自身と 黙いて おりまの

わかつた わかりましん

十がら川が 取あれて 困り何し

マイナ の どこかへ に行つた のが

わかくるか 何

家計回を作っていい

少くも分かる所があるらしい

上げて行くに子供達のイキハシのようだ

いろく いかれ木があるらしい

いさん ちさん を区別する為だ

名前がアサと男の子らしい

その土地との関係もアサらしい

表の住む大宮にも

4の子は とうりの木アサ

2の子は 木アサの身はアサとだ

とニイイハシ ときお 国に飛

2025
1/8